

ごみの不法投棄を断て!

不法投棄されないためのポイント

処分に多大な労力と処分費のかかる不法投棄。捨てられないようにすることが最善の防衛策です。

◆ねられる場所

- ⇒ 人が少ない
- ⇒ 下草が生えている
- ⇒ 道路脇

◆対策

- ⇒ 草刈りを行う
- ⇒ ごみをこまめに取る
- ⇒ 鳥居を模したのや花壇を作るなど捨てにくい環境にする

一定の効果が確認されています



大篠で回収された3トンの不法投棄ごみ



不法投棄重点パトロール地点

ねられる山、谷
月に2回、担当する地区を巡回、どこにどんなごみが不法投棄されているか調べてみる。

長年不法投棄に苦悩し、不法投棄監視員として地域で目を光らせている松下克美さんにお話を聞きました。



岡山県不法投棄監視員 松下克美さん(大篠)

草陰に捨てたそのごみ誰が回収するんですか?

「子どもが大人が後始末」
大篠地区で毎年1回行っている清掃活動。今年は大掛かりな回収を市と協力して6月に行いました。民生委員や愛育委員、老人クラブ、子ども会などから約40人が作業にあたり、たまりにたまった大量のごみを収集。タイヤ、家電製品、家庭ごみの入ったビニール袋などその量約3トン!



ばれなきやいのか!
「ばれないよう人気の少ない場所に捨てる人には、少なからず罪の意識があると思います。そんな人たちのマナーや意識には首をかしめ、少ない町内会費から払ったんですよ!」

驚いたのは、その多くがほかの地域や市外から持ち込まれたこと。「何でほかの地域の人のごみを捨てるのか」「取り締まりを厳しくしてほしい」などやり場のない憤りの声が上がっていました。さらには家電製品やタイヤの処分はお金がかかるため、少ない町内会費から払ったんですよ!

不法投棄ごみランキング

1位 **弁当がらとペットボトルの「昼食セット」**
最近急増中! コンビニで昼食を買って車の中で食べて、ポイ!

2位 **なぜ? 3位**
ごみの入った津山市指定ごみ袋

家電製品
回収して処分にリサイクル料がかかることも

地域への思いを力に
自然豊かな私たちの地域には、自慢できるものがたくさんあります。人情あふれ、団結心が強い人々、おいしい米、美しい善応寺の紅葉…。ごみの不法投棄はそんな地域の魅力に泥を塗る行為です。これからもみんなで監視の目を光らせていきます。

「自分さえ良ければいい」「誰も見ていないから」という身勝手な考えがある限り、問題は解決しません。モノがあふれ、モノを大切にすることを失っているのも原因の1つ。現代社会の問題の一端がこのような形で現れています。長い目で学校や家庭、そして地域で「良識ある心」を育てていく必要があります。

署では、不法投棄の連絡を受け捜査し、投棄者糾明にあたっていきます。
津山は県内で不法投棄の検挙数の多い地域。特に今年も多く、津山警察署管内で11件を検挙し(9月20日現在)、すでに昨年1年間の件数を上回っています。家庭ごみや、粗大ごみを道路脇や林に捨てる傾向があります。

不法投棄は犯罪。5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金という、決して軽くはない処罰が科せられます。ごみ袋ひとつでも数十万の罰金になることも。動機はほとんどが「分別が面倒くさかった」ですが、大きい代償です。



津山警察署 生活安全課長 岡島保治さん

不法投棄は犯罪
またごみの不法焼却も問題です。ダイオキシンなどが発生するとして近年規制が厳しくなり、ごみをドラム缶やブロックで囲んで焼却するなどのいわゆる「野外焼却」は禁止されています。※あせ焼きやとんど、たき火など一部が例外があります。

行政が一丸となって不法投棄対策

- ◎ 町内会と協力した不法投棄回収の実施
- ◎ 関係機関と連携し投棄者の糾明、改善指導、防止対策(禁止看板の設置、監視カメラの設置)
- ◎ 不法投棄禁止についての啓発

市

警察

- 不法投棄者を捜査・検挙

県

- 郵便局や森林組合、民間警備会社に委託しパトロール
- 不法投棄監視カメラ・航空機による監視
- 不法投棄監視員

不法投棄対策連絡会議

問い合わせ先 環境事業課 22・8255